

### —地域に飛び出す市民国際プラザ—

#### ○持続可能な復興をめざして 災害ボランティアセンター&企業との協業

日時：2016年8月24日 場所：熊本市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

熊本市社会福祉協議会は最初の地震があった翌日4月15日に「ボランティア・市民活動センター（災害ボランティアセンター）」を設置し、以来、救援物資の仕分けや避難所での炊き出し、また運営等の支援活動から、被災者宅での家屋内外の後片付け等々において、全国から駆け付けた多くのボランティアを被災者の元へ送り、その活動を支えてきました。

こちらのセンターではボランティアが気持ちよく活動できるよう、様々な試みを行っています。その一つとして多くの企業や地域の協力を得てボランティアの活動環境を整えるよう努めています。例えば水やスポーツドリンクなどの飲料や、保冷剤、日焼け止め、活動のあと疲労を癒す為のお菓子などを企業から提供頂き、いつでもボランティアの方々が利用できるように準備されています。企業は、試供品を提供することで社会貢献のみならず、PRの場としての効果も得られるため、結果として多くの企業の協力を得られるようになりました。

また物資の支援だけでなく、ある企業では新人研修の場としてボランティア活動を取り入れたり、資材管理についても企業の協力を得るなど、災害ボランティア活動が自立し持続可能なものになるよう、常にWin×Win関係が築けるよう心がけているとの事でした。

発災から約半年が経ちますが、ボランティア活動のニーズの変化に対応しながら、いまでも必要な支援が段階的且つ継続的に行われています。



#### ○フェアトレードシティくまもと 熊本震災の影響にも負けず！

日時：2016年8月24日 場所：フェアトレードシティくまもと推進委員会（フェアトレードラブランド）

熊本市内にあるフェアトレードシティくまもと推進委員会の代表理事である明石祥子氏が運営される「フェアトレードラブランド」を訪問しました。

ご自宅兼店舗の「フェアトレードラブランド」は熊本地震により大きな被害をうけました。幸か不幸か、この地域では地震の被害が比較的少なかったため、支援の手が届きにくくご自宅の修繕もなかなか進まない状況で、未だお店の全面開業には至らない状況にいらっしやいました。

このような状況下においても、商品を必要とされるご近所の方々のためにお店を開き、10月には東京自由ヶ丘で開催された「女神まつり」に熊本の復興支援のために出展されるなど、熊本の復興支援とフェアトレードの普及の為に精力的にご活躍されています。



## ○「福岡方式」ごみ埋立技術が世界のゴミ問題を解決！

日時：2016年8月26日

場所：国際連合人間住居計画（ハビタット）福岡本部

今、アジアの多くの国々では急速な都市化が進み、スラムの拡大など住居環境の悪化が深刻化しています。国際連合人間住居計画（ハビタット）福岡本部（アジア太平洋担当）は、アジア・太平洋地域における、開発途上国の居住問題に取り組むとともに、「住民主体のまちづくり」を推進している九州唯一の国連機関です。

国連ハビタット福岡本部は、福岡県、福岡市、そして地元経済界などからなる国連ハビタット福岡本部協力委員会などの支援のもと、「アジアの玄関口」である福岡からアジア太平洋地域の「住民を主体としたまちづくり」をサポートしています。

現在進行している主な事業は、アフガニスタンやスリランカ等における紛争後の再建復興、フィリピン等における災害後の再建復興、バングラデシュの貧困緩和、アジア太平洋地域30都市への気候変動に関する戦略支援など様々です。更に、福岡市や福岡大学と連携した「福岡方式」によるごみ埋立技術移転や、福岡を中心とする日本の環境技術・ノウハウをアジアの国々へ紹介する取り組みなどを行っています。



開発途上国のゴミ埋立は汚水やメタンガスが大量に発生し、水質汚染や地球温暖化などの環境問題が生じる原因となっています。「福岡方式」によるゴミ埋立は、ゴミ埋立に起因するそれらの問題を緩和し、環境に配慮した埋立方式です。国連ハビタット福岡本部はこの技術に着目し、福岡市や福岡大学と連携しながらアジアやアフリカの国々への普及に努めています。

【出展：国際連合人間住居計画（ハビタット）福岡本部HP】



## ○大分市（ゴミ分別）× 認定NPO法人地球環境ネットワーク（環境教育）の連携 『武漢市ごみ分別・減量促進事業』（モデル事業）

日時：2016年8月24日

場所：大分県大分市役所

大分市と武漢市は友好都市として様々な交流・協力事業を推進してきました。その結果、国際協力事業の展開に発展し、「ごみ分別・減量促進事業」はクレアのH28自治体国際協力促進事業（モデル事業）として採択されています。

武漢市民には、ごみの分別が資源のリサイクルになるという考えがなかった為、当初、武漢市の市民参加を促すことが困難であると予想されました。そこで、まずはモデル地区を作り、ごみの分別をすることによるメリットについて理解してもらう試みを行っています。この試みが成功した暁には、将来的に武漢市全域でごみ分別・減量をしていけると期待しています。

また、大分市内での環境教育の経験を活かす為、大分市内で子どもを含めた住民を対象に環境教育事業を長年にわたり行ってきた実績のある認定NPO法人地球環境ネットワークと連携し、武漢市民への啓発教育を行っています。この事業では大分市内の市民参加を取り入れることも大きな目的の一つだそうです。

これからも交流を深めながら、様々な分野での国際協力へ発展していく事に期待が膨らみます。

### 市民国際プラザ 平成28年度の予定（平成28年10月現在）

参加者募集中！

平成28年度地域国際化ステップアップセミナー（多文化共生）in 富山を開催します！

今回のセミナーは「ダイバーシティ×地方創生」です。

・日 時：平成28年11月25日（金）13:00～17:10（受付：12:30～）※セミナー終了後、懇親会（実費精算）あり。

・開催場所：サンシップとやま（富山県富山市安住町5-21）

< 詳細及び申込方法については下記URLをご覧ください >

<http://www.plaza-clair.jp/information/event1609092.html>

市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために、  
市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします♪  
現在の市民国際プラザ「いいね！」数 440件



（一財）自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail [international\\_cooperation@plaza-clair.jp](mailto:international_cooperation@plaza-clair.jp)